

ちょっと いわせてはいよⅡ

また来ちゃった!

熊本市 中国国際交流員 阮 茉莉(ゲン マリ)

皆さん、こんにちは。阮茉莉と申します。中国武漢の出身ですが、大学卒業して以来ずっと広西チワン族自治区で日本語を教えていました。学生時代、夏休みを利用して一度熊本に来たことがあります。中国は日本と同じアジア国同士で、中国人は日本人と同じ黄色人種であるにも関わらず、はじめの時は日本での生活に慣れるまでにさすがに時間がかかりました。飛行機から降りて、荷物を取って、高速バスを乗りに行ったら、なんとお年寄りに荷物を積んでもらいました。中国では、お年寄りの手伝いをしたことがあります。お年寄りに手伝ってもらった記憶がない、というより、お年寄りに手伝ってもらおうと変な目に見られるほうです。その次に驚いたのは、高速道路の料金所で働くスタッフの中ではお年寄りが圧倒的に多いこと。なぜそんなにびっくりしたかということ、中国では、料金所のスタッフはほとんど若くて綺麗な女性ですから。三番目に驚いたのは、やはりお年寄りと関係があります。それはタクシー運転者の多くがまたお年寄りであること。驚きの連続。日本のお年寄りって本当に大変だなとさえ思いました。しかし、今になって考えてみれば、いくら年をとっても、活躍のできる場所があって、日本のお年寄りって本当に幸せですね、と思うようになりました。日本での生活



2006、日本

に慣れてくるにつれて、日本という国が益々好きになってきました。ちょっと長かったですが、こうして6年ぶりにまた熊本に来てしまった^^!

一回目は旅行というような感じでしたが、今回は国際交流員という形で来ました。市役所の国際室に勤めさせていただいた



懐かしい学生時代

以上、国際交流の役割を果たして帰国しなければならないと思っています。今年、中・日はちょうど国交正常化40周年を迎えました。現在、中・日両国において、中・日両国国民の交流拡大、相互理解の増進を目的に、官民挙げて一連の記念事業を実施しています。記念行事の趣旨にふさわしい行事に対して、「中日国交正常化40周年記念事業」の「認定行事」としての名義を付与します。認定された事業は、交流年のロゴマーク、キャッチフレーズを使用することができます。中国を出発する前に、北京の日本大使館の大使に、それぞれの任地で少なくとも、二つの認定行事を申請して



30歳の誕生日に取った記念写真^^

帰ってください、と言われました。また、月ごとに行われる中国語サロンなどを通じて、私の感じた中国と日本の違いをできる限り多くの皆さんにお伝えしていければと思います。それから、自分の目で見たこと、自分の耳で聞いたことをきちんと確認してから国に帰って中国の人々に伝えたいと思います。というわけで、熊本市の皆様これからどうぞ、よろしく願いいたします。



若ママ^^